

駿河湾の宝石、

解答例



サクラエビの春漁が始まり網を引く漁師
＝14日午後7時5分ごろ、焼津沖

春漁初操業乗船ルポ

投網もハダカイワシのみ

サクラエビ 異変

5日解禁から9日遅れの初操業となったサクラエビ春漁。由比漁港から14日午後、山七若宮丸（約6シ）に乗船し、焼津沖で投網を見守った。しかし、エビではなくほほハダカイワシだけが水揚げされる「ほろ苦い」船出となった。

「これ、やれと言えばやれるかな」。午後7時前、船長の山崎直哉さん（48）＝同区蒲原



水揚げされたのはハダカイワシが大半。さみしい初漁となった＝14日午後7時10分ごろ、焼津沖

が魚群探知機を見ながら、無線でもやい船の船長の男性（73）＝同に投網を打診した。男性は低い声で応じたが、首をひねらざるを得なかった。

実際、直哉さんにとつても苦渋の決断だった。通常、海中に帯の漁史上初の厳しい自主規制を敷いてきた。しかし、春漁前の湾奥の資源調査では魚影は薄いままだった。都内の大学を卒業後、23歳で家業のサクラエビ漁師を継いだ山崎さん。目の前の海で漁ができないことがさみしくてたまらない」（サクラエビ異変取材班）

2020年
4月15日朝刊

記事を読んで問いに答えましょう。

①「駿河湾の宝石」とは何のことでしょうか。カタカナで答えましょう。（ **サクラエビ** ）

②記事で伝えたい内容をふまえて、見出しの口に入る言葉を考え、8字以内で書きましょう。

<解答例>

ど	こ	へ					
---	---	---	--	--	--	--	--

このほか…
「どこへ行ったのか」
「ほろ苦い船出」
「さみしい初漁」 など

年 組 名前